

木之本地域
住民福祉
活動計画について

木之本地域住民福祉活動計画は、福祉（暮らし）について住民みんなで考え行動するための指針であり、「住民参加」による活動・実践と、関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

平成28年に「第1期木之本地域住民福祉活動計画」、平成31年に「第2期木之本地域住民福祉活動計画」を策定し「地域の絆 安心して暮らしやすい木之本」を基本理念に様々な活動に取り組んできました。この理念は引き続き「第3期木之本地域住民福祉活動計画」の理念として位置づけていきます。

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きく変化し、身近な地域での交流の場の縮小や担い手の減少など課題はさらに増えています。木之本地域では、安心な福祉のまちづくりと、新たな課題への対応を図るため、第3期木之本地域住民福祉活動計画を策定しました。

第3期 木之本地域住民福祉活動計画

2024年度 ▶▶▶ 2028年度

地域の絆 安心して暮らしやすい 木之本

木之本地域の人口推移

	15歳未満	15-64歳	65歳以上	総計
H28	768	4,056	2,531	7,355
H29	738	3,938	2,509	7,185
H30	717	3,808	2,525	7,050
R1	688	3,657	2,499	6,844
R2	673	3,536	2,498	6,707
R3	656	3,434	2,475	6,565
R4	618	3,291	2,458	6,367
R5	589	3,201	2,458	6,248
R12	2,910		2,201	5,111
R22	1,669		2,015	3,684

長浜市住民基本台帳より
『第9期ゴールドプランながはま21に記載の市全体推計人口』
の圏域別内訳資料」（長浜市長寿推進課作成）

地域の現状と課題

- 少子高齢化、担い手不足
- 高齢者の活動量の低下と外出の機会の減少
- 老々介護、老障介護
- 8050、9060 問題
- サロンの休止、冬場の閉じこもり
- 水害、土砂災害、大雪の心配
- 災害時に支援を必要とされている人がわからない
- 命のバトンや防災福祉マップの取り組みに各自治会差がある。
- 運転免許証の返納後の移動や受診、買い物の問題
- 自治会内も含めた他の組織との横のつながりがない

活動計画の
推進体制について

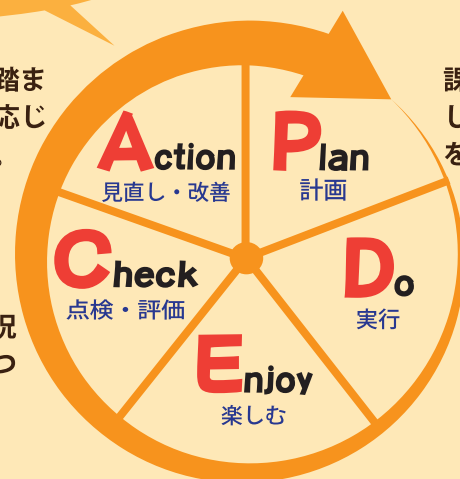
楽しさを取り入れる！

木之本地域住民福祉活動計画は、自治会長（町内会長）や民生委員児童委員をはじめ、福祉委員や各団体とも意見を交換しながら、福祉の会を中心に定期的な進捗管理をします。

これまではPDCAの流れで活動を推進してきましたが、楽しむ（Enjoy）を追加し、企画立案する人も、参加する人もみんなが自分なりに楽しく参加、参画できるように、PDECAの考え方で、無理なく地域福祉活動の推進に取り組めます。

評価結果を踏まえ、必要に応じて改善する。

活動の進捗状況や達成状況について評価する。



無理なく、自発的かつ主体的に取り組む。

課題を発見・共有し、解決の方向性を見出す。

計画をもとに、具体的な活動を進める。

問い合わせ

木之本地域住民福祉活動計画策定委員会

木之本福祉の会事務局 長浜市木之本町千田 53 電話 82-5419

表紙写真

Miwako-Yamauchi

Spring 伊香具神社の桜



Summer 木之本地蔵緑日



Autumn 鷄足寺の紅葉



Winter 杉野イルミネーション

木之本地域住民福祉活動計画策定委員会

基本理念

地域の絆 安心して暮らしやすい 木之本



基本目標 1 心あたたまる交流と地域活動への参画

子どもから高齢者まで、みんなが気軽に参加し交流できる事業を開催し、地域住民のつながりづくりを推進します。



- 地** あいさつから始まる地域の対話（コミュニケーション）を大切にし、顔の見える関係づくりを進めます。
- 人** 地域の活動を通して人と人のつながりを深め、交流活動に参画する人材を養成するとともに「福祉の心」を育みます。
- 仕** 人と人とのつながりの要となる人（地域づくり協議会会員、自治会長、民生委員、福祉委員、団体長等）と協働した交流事業への参加・参画の声かけを進めます。

推進の目安となる活動

- 木之本福祉の会サポーター募集 ■ あいさつ運動 ■ ちびっこ広場
- 福祉のつどい ■ チャリティーバザー ■ 貸出し備品の充実
- 各福祉団体交流事業（ペタンク、研修旅行） ■ きのもと文化祭
- 各地域づくり協議会交流事業（グラウンドゴルフ、スポーツフェスタ、みんなでニュースポーツ、子ども支援会議…等）

基本目標 2 安心して暮らせる地域の居場所づくり

高齢者の「居場所」としてのサロンや転倒予防教室、子どもの「居場所」である子ども食堂等を支援します。人と人がつながり、参加する人がお互いを理解し認め尊重しあえる「居場所づくり」を進めます。

- 地** 自治会・町内会を中心としたサロン活動や転倒予防教室の取り組みを推進するとともに、ひとつの自治会での開催が難しいところでは合同での開催も検討します。
- 地** 趣味や特技を活かした居場所づくりを進めます。
- 人** 身近な居場所、当事者同士の居場所をつくる人を支援します。
- 仕** 居場所の拡充を目的とした研修会や情報交換会の機会をつくります。

推進の目安となる活動

- サロン活動支援（サロン助成、サロンスタッフ講習会）
- 転倒予防教室 ■ 介護者のつどい ■ ひとり暮らし高齢者のつどい
- 男の料理教室 ■ きのもと子ども食堂 ■ 子ども食堂みちくさ
- 各サークル活動

基本目標

基本目標 3 お互い様で支え助け合う見守り

地域の住民や団体が地域の困りごとを拾い上げ、課題解決に向けた取り組みを行います。いざという時に誰一人取り残さない安心のまちを目指して、おたがいさまでつなぐ見守り活動に取り組みます。住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を創っていく「地域共生社会」をめざします。

- 地** 「助けて」と言い合え、お互い支え合って暮らせる地域づくりを進めます。
- 地** 生きづらさを抱えた人たちを支援する活動を推進します。
- 地** 災害時を想定した地域の支え合い体制をつくります。
- 人** 生活支援活動に取り組む人材育成に取り組めます。
- 仕** 地域の困りごとを受け止め解決に向けた話し合いができる体制をつくります。



推進の目安となる活動

- 「長浜市避難支援見守り支えあい制度」への取り組み ■ 認知症サポーター養成 ■ 友愛訪問
- 見守り会議の実施（命のバトンや防災福祉マップの取り組み） ■ 生活支援ボランティアの立ち上げ
- フードバンク木之本塾の活動 ■ 社会を明るくする運動（地域防犯と非行防止などの啓発） ■ お楽しみ弁当

基本目標 4 人と人をつなぎ地域や団体がつながる仕組みづくり

自治会、連合自治会、地域づくり協議会、民生委員児童委員協議会、福祉委員などと協力して、人と人のつながりが深まるような仕組みづくりを進めます。

- 仕** 福祉団体や関係機関、NPO との連携を強化し各福祉関係団体の活動を支援します。
- 仕** 「木之本福祉の会」の活動を効果的にPRし、参加しやすい仕組みを目指します。
- 仕** 木之本地域内の企業への協力を依頼します。



推進の目安となる活動

- 木之本福祉の会、各地域づくり協議会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会、長浜市健康推進員協議会木之本地区、老人クラブ連合会木之本支部ほか関係諸団体との連携
- 各福祉関係団体、各地域づくり協議会の活動支援
- 広報啓発活動の取り組み
- 地域住民、福祉団体と専門機関、専門職の連携や協力